

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-40℃～ +85℃ (注1)		保存温度範囲	-10℃～ +60℃ (注2)	
	使用湿度範囲	40 %～ 80 %		保存湿度範囲	40 %～70 % (注2)	
	電 圧	AC 250V		UL・GSA 電圧	AC 30V	
	電 流	AWG22～26 : 2A AWG28 : 1A AWG30 : 0.5A	規格	電流	AWG22 : 2A AWG24～28 : 1A AWG30 : 0.5A	
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT	AT
構 造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。		30 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。		1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗: 30 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。		①接触抵抗: 30mΩ以下 ②絶縁抵抗: 500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +5～+35 → +85 → +5～+35℃ 時間 30 → 5～ 15 → 30 → 5～ 15分 を 5 サイクル 試験する。		①接触抵抗: 30 mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	半田耐熱性	【 リフロー半田付けの場合 】 (注3) 《 リフロー部 》 MAX 250 °C 10 秒以内 230 °C以上 60 秒以内 《 予熱部 》 150～180 °C 90～120秒 リフロー炉に 2 回通し、常温常湿中に 1 時間放置後、試験する。 【 手半田の場合 】 半田ごてで 290 ± 10℃、 3 秒の条件にて半田付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。		概観の変形、及び端子などの著しいガタ がないこと。	○	—
	半田付け性	半田温度 230 ± 5℃、 浸漬時間 3 秒間の半田付けを行う。		半田浸漬面の 95 %以上が 新しい半田で濡れていること。	○	—
備考						
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。						
(注2) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。						
(注3) 上記温度プロフィールは防湿梱包開封後168時間以内に適用。 防湿梱包開封後から168時間以上経過している場合は下記温度プロフィール条件を適用。 《リフロー部》 MAX 240℃、10秒以内、230℃、60秒以内 《予熱部》 150～180℃、90～120秒						
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
	1	DIS-H-008540	MI. SAKIMURA	HK. UMEHARA	14. 02. 26	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。				承認	TS. MIYAZAKI	05. 01. 31
				検 図	HK. UMEHARA	05. 01. 31
				担 当	IO. DENPOUYA	05. 01. 24
				製 図	FK. MATSUKI	05. 01. 24
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-307176-03		
	製品規格表		製品名	DF11CZ-*DP-2V(27)		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL543		1/1